

●モンゴル

モンゴルの経済は COVID-19 の世界的大流行の影響によって、引き続き大きな打撃を受けている。11月11日に報告された COVID-19 の最初の市中感染により、その後、国全体および地域の封鎖が行われました。2020年第3四半期には経済収縮のペースは鈍化したが市中感染により、国の経済活動がより制限的なモードに置かれることを余儀なくされたため、経済は第4四半期にさらに深刻な収縮を経験する可能性がある。2021年1月4日の時点で、モンゴルは国内で1,286件の COVID-19 の感染者を登録しているが、このうち878件は国内で感染したものである。

マクロ経済

モンゴルの実質 GDP は、第3四半期に前年比3.1%のマイナスで、3四半期連続で縮小した。2020年1-9月では前年同期比7.3%の縮小になった。第3四半期の季節調整済実質 GDP は前期比4.4%増加した。

農業を除くすべての部門の生産は、第3四半期に前年同期比で低下した。GDP の40%以上を占める貿易およびサービス部門の生産は、第3四半期の GDP の低下の約3分の2または2.1パーセントポイントを占めた。GDP の20%以上を占める鉱業部門の生産量の減少の規模は、

前四半期と比較して小さかったが、第3四半期の GDP 縮小の1.1パーセントポイントを占め、2番目に大きな要因であった。農業は成長を遂げた唯一のセクターであり、第3四半期の成長に1.1パーセントのプラスの貢献をした。

支出面では、2020年1-9月の GDP は前年比7.1%減少した。しかし、家計や企業に提供された寛大な刺激策により、最終消費は期間中に前年同期比7.1%増加した。ただし、総資本形成は、期間中に前年同期比33.6%減少した。輸出入はそれぞれ、前年同期比7.9%、同8%減少した。

実質鉱工業生産 (GIO) は、鉱業部門の生産量の増加によりプラスに転じ、2020年10月と11月にそれぞれ前年比11.6%と2.4%増加した。鉱業と採石業の生産高は、10月と11月にそれぞれ前年比15.4%と13.2%増加した。ただし、2020年1-11月は、累積で前年比9.2%減少した。

2020年1-11月において、モンゴルの主要な輸出商品の1つである石炭の生産量は前年比27%減少し、3500万トンとなった。銅精鉱の生産量は1年前とほぼ同じで120万トンであった。同時期にモリブデン、螢石精鉱、鉄鉱石、鉄精鉱などの他の主要輸出商品の生産量は、前年同期より7.6%から48.3%の範囲で高かった。金の生産量は前年比26.6%増の18.8トンであった。

労働力調査 (LFS) によると、2020年第3四半期に9万2600人が失業し、失業

率は2020年第2四半期の6.6%から7.3%に上昇した。2020年第3四半期の労働生産性は、COVID-19対策として課せられたさまざまな制限により、前年比4.9%低下した。サービス部門の生産性の低下は、前年比11.6%と非常に深刻であった。しかし、登録失業者数は実際の失業者数よりはるかに少なく、2020年11月末時点において18,587人で、前年の21,141人から減少した。

2020年1-11月期の消費者物価指数 (CPI) の変化は対前年同期比3.8%であった。COVID-19パンデミックによって消費者が不要な支出を削減し、またサービスセクターに課せられた制限によりサービスの需要が減少したため、2020年11月のサービスの CPI の変化はより低く1.9%となった。商品の CPI の変化は4%で、食品と非食品の CPI の変化はそれぞれ7.3%と1.9%となった。COVID-19パンデミックにより旅行の需要がほぼ停止したため、2020年11月の輸送の CPI は前年同期比4.6%低下した。

通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは下落を続け、2020年11月は1ドル=2850トゥグルグで、前年同月比5.4%の減価となった。

モンゴル銀行は、COVID-19パンデミックに対して経済を刺激することを目的として、政策金利を2020年3月の10%から2020年11月24日時点で6%に引き下げ、広範な金融政策を実施した。M2は2020年4月以降急増を続け、2020年11月

末時点で23.2兆トゥグルグ(81.5億米ドル)を占め、トゥグルグベースで前年比13.4%、米ドルベースで前年比3.3%増加した。しかし、経済活動の低迷により、貸付需要は引き続き減少し、2020年11月末の貸付残高は17兆トゥグルグとなり、トゥグルグベースで前年比6.4%、米ドルベースで前年比11.2%減少した。同時に、不良債権の割合は引き続き増加しており、11月末の融資残高全体の11.8%を占めている。

国家財政の赤字は引き続き拡大し、2020年1-11月期で3兆7111億トゥグルグに達し、前年同期のほぼ6倍となった。経済活動が低迷したため、均衡収入と助成金の合計は前年比14.8%減少し、8.25兆トゥグルグを占めました。一方、総支出と純貸付は前年比30%増加し、12兆トゥグルグに相当します。税金は前年比14.3%減、非税収は前年比19.4%減となった。しかし、外国からの助成金は前年比13.9%増加し、1063億トゥグルグまたは3,780万ドルを占めました。燃料税などの特別目的の収入を除いて、すべてのカテゴリーで税金が減少しました。同時に、未来遺産基金と安定化基金にそれぞれ7684億トゥグルグと491億トゥグルグが割り当てられ、それぞれ前年比18.4%と46.2%減少した。以前の予算支出よりも高いことは、現在の支

出で前年比32.8%の増加、設備投資で前年比32.4%の増加に関連し、純貸付は前年比80.1%減少しました。

外国貿易

2020年1-11月期に、モンゴルは146か国と貿易を行い、対外貿易の総売上高は117億ドルを占めました。輸出と輸入はそれぞれ69億ドルと49億ドルを占め、20億ドルの黒字となった。ただし、輸出入はいずれも前年を下回り、輸出は前年比2.8%減、輸入は前年比12.5%減となった。総輸出の69.4%を占める鉱物商品は、前年同期比で20.5%減少したが、非金の輸出は4.7倍に増加し、総輸出の23.7%を占めた。その他の輸出(全体の6.9%)は、期間中に前年比35.4%減少した。石炭と銅精鉱の輸出は、以前よりも少なく、期間中にそれぞれ20億ドルと15億ドルを占めた。国際市場におけるこれらの品目に対する需要は以前よりも低いため、モンゴルの石炭および銅精鉱の輸出価格は、それぞれ前年比12.3%および5.9%低下した。

2020年1-11月期、中国への輸出は全体の72.3%を占め、中国からの輸入は全体の36.8%であった。2番目に大きな輸出先はスイスで全体の22.2%であった。スイスへの輸出は事実上、非貨幣用金の

輸出であった。同時に、ロシアからの輸入は全体の26.1%を占め、その51.7%は石油製品であった。モンゴルの唯一のEPAパートナーである日本からの輸入は総輸入の7.7%に相当し、3番目に大きな輸入元となっている。日本からの総輸入の58.5%は自動車であった。

輸送

2020年第3四半期の総貨物輸送量は、鉄道貨物輸送量の増加により、前年比1.9%増加した。2020年第3四半期の鉄道貨物の売上高は前年比13%増加したが、総貨物の82.6%は鉱物商品であった。鉄道貨物の売上高は10月と11月に前年同期比で増加を続け、2020年1-11月期は前年比11.1%増加した。ただし、COVID-19により道路輸送に国境を越える制限が課せられた。道路貨物の売上高は引き続き減少し、2020年第3四半期には前年比19.9%減少した。

航空輸送はCOVID-19のパンデミックの影響を最も受け、2020年1-11月期で航空貨物の売上高は前年比40.6%減少した。

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダル

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2019年1Q | 2019年2Q | 2019年3Q | 2019年4Q | 2020年1Q | 2020年2Q | 2020年3Q | 2020年10月 | 2020年11月 | 2020年1-11月 |
|------------------------|--------|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|------------|
| 実質 GDP 成長率(対前年同期比:%) | 1.2 | 5.3 | 7.2 | 5.2 | 8.6 | 6.4 | 4.6 | 2.2 | ▲10.7 | ▲9.1 | ▲3.1 | - | - | - |
| 鉱工業生産額(対前年同期比:%) | 12.3 | 13.0 | 4.8 | 2.4 | 11.5 | 6.6 | 2.8 | 6.0 | ▲17.1 | ▲14.7 | ▲6.6 | 11.6 | 2.4 | ▲9.2 |
| 消費者物価上昇率(対前年同期比:%) | 1.1 | 4.3 | 6.8 | 7.3 | 7.0 | 7.7 | 8.4 | 6.0 | 6.1 | 3.6 | 2.4 | 2.4 | 3.5 | 3.8 |
| 登録失業者(千人) | 34.4 | 25.5 | 25.0 | 20.8 | 21.8 | 23.0 | 20.4 | 20.8 | 19.4 | 19.6 | 17.8 | 18.3 | 18.6 | 18.6 |
| 対ドル為替レート(トゥグルグ) | 2,148 | 2,441 | 2,473 | 2,664 | 2,639 | 2,645 | 2,667 | 2,704 | 2,757 | 2,799 | 2,847 | 2,854 | 2,850 | 2,810 |
| 貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%) | 21.0 | 30.5 | 22.8 | 7.0 | 22.6 | 16.6 | 14.0 | 7.0 | 3.8 | 5.5 | 9.8 | 10.1 | 13.6 | 13.6 |
| 融資残高の変化(対前年同期比:%) | 6.1 | 9.6 | 26.5 | 5.1 | 23.5 | 18.3 | 11.1 | 5.1 | ▲1.8 | ▲4.6 | ▲4.4 | ▲5.4 | ▲6.4 | ▲6.4 |
| 不良債権比率(%) | 8.5 | 8.5 | 10.4 | 10.1 | 10.7 | 10.5 | 10.9 | 10.1 | 10.7 | 11.0 | 11.4 | 11.6 | 11.8 | 11.8 |
| 貿易収支(百万 USドル) | 1,558 | 1,863 | 1,137 | 1,492 | 486 | 559 | 302 | 145 | ▲126 | 494 | 851 | 320 | 419 | 1,969 |
| 輸出(百万 USドル) | 4,916 | 6,201 | 7,012 | 7,620 | 1,772 | 2,167 | 2,007 | 1,674 | 1,036 | 1,792 | 2,319 | 839 | 869 | 6,855 |
| 輸入(百万 USドル) | 3,358 | 4,337 | 5,875 | 6,128 | 1,286 | 1,608 | 1,705 | 1,529 | 1,162 | 1,299 | 1,468 | 509 | 450 | 4,887 |
| 国家財政収支(十億トゥグルグ) | ▲3,660 | ▲1,742 | 3 | ▲628 | 194 | 108 | 183 | ▲1,112 | ▲276 | ▲1,922 | ▲541 | ▲520 | ▲452 | ▲3,711 |
| 国内貨物輸送(対前年同期比:%) | 20.0 | 15.3 | 14.6 | 7.4 | 9.5 | 5.3 | 16.7 | ▲1.8 | ▲6.3 | ▲8.5 | 1.9 | - | - | - |
| 国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%) | 7.9 | 9.1 | 13.5 | 13.5 | 12.6 | 14.3 | 14.4 | 12.8 | 10.8 | 12.6 | 13.0 | 9.1 | 4.2 | 11.1 |
| 国内道路貨物輸送(対前年同期比:%) | 78.4 | 33.6 | 17.3 | ▲6.6 | 1.5 | ▲13.6 | 21.6 | ▲38.4 | ▲54.5 | ▲68.8 | ▲19.9 | - | - | - |
| 成畜死亡数(対前年同期比:%) | 2.3* | ▲39 | 3* | ▲58 | ▲74 | ▲66 | ▲66 | ▲58 | 89 | 78 | 78 | - | - | - |

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか